

## 令和2年度「急な病気やけがで困ったときの対応に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

### 1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q5の「横浜市救急相談センター（#7119）を何で知りましたか」の質問において、「イ 広報よこはま」と回答された方が58.7%（532人）と回答者の半数以上を占めていることがわかりました。毎年1回程度、救急相談センター（#7119）に関する情報を広報よこはまに掲載してきましたが、今後はより広く周知するために、市民の方々の目に触れる機会を増やして行きたいと考えています。

### 2 アンケートを実施した感想

Q1の「夜間や休日などに自分や家族が急に病気やケガをし、医療機関を受診するかどうか迷った場合、どう対応していますか」の質問において、「ア 「横浜市救急相談センター（#7119）」を利用する」と回答された方が50.4%（639人）と多くの方にご活用していただいていることが確認できました。一方で、「本アンケートを通じて初めて事業を知った。より多くの市民に浸透させてほしい」というご意見もあったことから、積極的に広報周知を行っていくことが必要だと感じました。

また、ご記載いただいた様々な広報手段に関するアイデアなどは、今後広報を行う際の参考にさせていただきます。

### 3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

この度は、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

いただいた様々なご意見を参考に、「横浜市救急相談センター（#7119）」や「横浜市救急受診ガイド」など、市民の方々が急な病気やけがで困ったときに迅速かつ適切に対応できるよう業務の改善につなげていきたいと思っております。

担当：医療局医療政策課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。